

令和三年

「いい街を継ぐ」

謹賀新年。

新年明けましておめでとうございます。令和になつて2回目の正月、昨年は新型コロナの感染拡大で世界中が随分と振り回されました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

株式会社四方繼に社名と組織を変更し、

受け継がれる価値のある丁寧なものづくりのつむぎ建築舎「人を繋ぎ、ご縁を紡ぎ、いい街を継ぐ」のつない堂

それぞれに事業内容を転換し、より地域の皆様との繋がりを深めて、「安心と安全」を感じられるようにしました。おかげさまで、なんと新規の若手弁護士、遠藤先生の「街の美観を損ね、経済を停滞させ、地域住民の危険の種になる空き家問題は積極的に取組んで解決しなければならない！」

弁護士、建設業以外にも司法書士、保険業、不用品、廃材処分、税理士、リフォーム会社、不動産業、そして建築学部の学生と空き家対策に必要な全ての業種が一堂に会し、連携をとりながら、それぞれの専門分野の強みを生かし、迅速に問題解決に向けたアクションを遅滞なく進めるワンストップ窓口を作り上げる試みです。

昨年から新たにスタートを切ったつない堂では、地域の信頼できる専門家をご紹介して繋げるサービスを行なっています。その流れでこの新年から新たな取り組みをスタートさせます。それは、つない堂立ち上げの時からお世話になっている新進気鋭の若手弁護士、遠藤先生との熱い志に共感し、同志を募った事で誕生した、これまでにない新しいプロジェクトチームです。

実際に私たちも、少し前にお客様から、強風が吹くと隣の空き家の瓦が落ちてきて非常に危ないので何とかならないか?と相談を受けました。以前、広島の刑務所からの脱走囚が、瀬戸内海の島の空き家を渡り歩いて暮らしていたと言ふ報道もありましたし、誰も住んでいない家から不審火が起った火事になることも少なからずあるようです。人が住まないと建物はどんどん朽ち果っていくもので、長年放置された空き家は、雨水が侵入し、シロアリが食い荒らし、台風や地震の際に倒壊する危険も歳月とともに高まります。全国的に見れば、10年後には全体の3分の1が空き家になると、放棄して問題を先送りする場合ではなくなっているのは明らかです。

この空き家問題、どんどん深刻化している理由は、必要なくなった家を解体処分するにも、売却するにも、一筋縄ではいけない複雑な問題が絡み合っていることが多い、しかもその問題は案件によってバラバラです。近隣の人が長年空き家になっているのを気にかけて、自分の街を守るために、どこかに相談して解決しようと思つても、自治体でも、弁護士でも、不動産業でも、建築会社でも、司法書士でも、それぞれ単体では問題解決することができず、様々な専門家間で協力して横断的に問題解決を図らなければ一向に前に進まないのです。それならばいつそ、すべての専門家が揃っているワンストップサービスの窓口を作つて、情報を共有しながら適材適所の人員が活躍し、一体となつて問題と向き合えるような仕組みを作つたらどうか。というのが今回のプロジェクトと集まつた各界の専門家の「小さくて大きな力」を発揮できる日を心待ちにしています。



実際に私たちも、少し前にお客様から、強風が吹くと隣の空き家の瓦が落ちてきて非常に危ないので何とかならないか?と相談を受けました。

以後、益々増え続ける神戸市中の空き家、その土地をもつと経済にも寄与できる可能性があると思うのです。皆様の周りで、経済にも綺麗になりますし、地域の力も借りながら誠意を持った問題解決へ取り組む所存です。地道な活動ではあります

地域コミュニティサービス、つない堂が目指すのは、次世代を担う子供達に神戸の街を少しでも良くして継ぎたいとの想いです。その為に私達が出来る事はたかが知れていますが、同じ志を持つた、様々な職種の専門家の方達と力を合わせて取り組めば、私達の実力以上の事を成せるかも知れません。



空き家対策プロジェクトチームキックオフ！



12月4日、四方繼3階TUGIスタジオが新しくなりました



工事前の3Fスペース



一枚ずつ天井を貼る紡ぎ手



完成後
西側の造作棚はベンチにも



一から設計した造作キッチン。
お客様の希望に合わせて制作可能

すみれ建築工房本社落成時からイベントや癒しの空間として使われてきた3F打合せスペース。20周年を機に、2Fの改裝から一年遅れでこちらもリニューアルすることとなりました。「脱既製品」を目指し内装材のほとんどに無垢材を使用。天井・床とも兵庫県産桧、壁は珪藻土塗りで自然材料をふんだんに使った優しい空間を目指しました。

そして今回の改装のメインは聴き手が一から設計した造作キッチン。自然材の内装に合わせてシナベニヤ材を使用しました。皆様にご提案させて頂く際のモデルとして展示、ご使用もして頂けます。今後「つむぎぐらし」のイベントでも活躍する事間違い無しですので、ご見学がてらご参加ください。

また、社内の予定が無い日は1日500円でコワーキングスペースとして一般開放する計画も。リモートワークにもお使い頂けますので是非お問い合わせ下さい。

身近な地域の情報、建築サポートをお届けする
月額課金制のサービスです



つない堂地域サポートサービス 「tunagi～つなぎ」のご案内

①頼れる専門家のご紹介
(有料・無料会員様)
「tunagi～つなぎ」(つない堂)担当者がLINEやHPにて最新の情報をお知らせ。キャンペーン情報やクーポンもお得にgetできますのでお見逃しなく!

④建築端材お分けします
(有料会員様)
工事を行う中で必ず出てくる木材の端材、捨ててしまうにはもったいないものもたくさんあります。そんな材料をDIYなどに使ってみませんか?お宝ものの材料が出た時にはLINEで情報をお知らせします!

②提携事業者のお得情報配信
(有料・無料会員様)
会員の皆様にはLINEやHPにて最新の情報をお知らせ。キャンペーン情報やクーポンもお得にgetできますのでお見逃しなく!

⑤ホームインスペクション
(有料・無料会員様)
全ての会員様は30,000円(税別)のつむぎインスペクションが無料、電磁波測定を5,000円(税別)でご提供いたします。有料会員様はインスペクション+住まいの報告書、電磁波測定も無料でご提供いたします。

③「つむぎぐらし」の会員割引
(有料会員様)
毎月1回様々なイベントを行っています。参加料、割引額はその都度変わっていますので募集時の案内をご確認の上ご参加ください。

⑥巡回メンテナンスの拡充
(有料会員様)
一般の方は1時間まで無料作業のところ、有料会員の方は3時間以内のメンテナンスが無料でご依頼いただけます。メンテナンス対応時期も巡回の際に限らず、不具合が発生した時にお伺いさせていただきます。

サービス加入期間に応じて、お支払い頂いている $\text{円} + \alpha$ をご優待特典として工事費用にお使いいただけます。長く『つなぎサービス』とご縁をいただいた方ほどお得ですよ!

月額 1,000円(税別)
でこんなにお得がいっぱい!
さらにつなぎ有料会員様には、毎月抽選で5~10名(収穫量によります)の方に「季節の無農薬野菜」をプレゼント。当選者には当社よりご連絡いたしますのでお楽しみに!

株式会社四方繼
代表取締役
高橋剛志

最後になりましたが、本年も何卒宜しくお願い致します。
謹賀新年
2021

昨年から新たにスタートを切ったつない堂では、地域の信頼できる専門家をご紹介して繋げるサービスを行なっています。その流れでこの新年から新たな取り組みをスタートさせます。それは、つない堂立ち上げの時からお世話になっている新進

気鋭の若手弁護士、遠藤先生の「街の美観を損ね、経済を停滞させ、地域住民の危険の種になる空き家問題は積極的に取組んで解決しなければならない!」

弁護士、建設業以外にも司法書士、保険業、不用品、廃材処分、税理士、リフォーム会社、不動産業、そして建築学部の学生と空き家対策に必要な全ての業種が一堂に会し、連携をとりながら、それぞれの専門分野の強みを生かし、迅速に問題解決に向けたアクションを遅滞なく進めるワンストップ窓口を作り上げる試みです。

弁護士、建設業以外にも司法書士、保険業、不用品、廃材処分、税理士、リフォーム会社、不動産業、そして建築学部の学生と空き家対策に必要な全ての業種が一堂に会し、連携をとりながら、それぞれの専門分野の強みを生かし、迅速に問題解決に向けたアクションを遅滞なく進めるワンストップ窓口を作り上げる試みです。

詳しい情報は左記QRコードを読み取って頂ければ「つない堂」HPにて紹介動画がご覧いただけます。

地域コミュニティサービス、つない堂が目指すのは、次世代を担う子供達に神戸の街を少しでも良くして継ぎたいとの想いです。その為に私達が出来る事はたかが知れていますが、同じ志を持つた、様々な職種の専門家の方達と力を合わせて取り組めば、私達の実力以上の事を成せるかも知れません。

実際に私たちも、少し前にお客様から、強風が吹くと隣の空き家の瓦が落ちてきて非常に危ないので何とかならないか?と相談を受けました。以前、広島の刑務所からの脱走囚が、瀬戸内海の島の空き家を渡り歩いて暮らしていたと言ふ報道もありましたし、誰も住んでいない家から不審火が起った火事になることも少なからずあるようです。人が住まないと建物はどんどん朽ち果ていくもので、長年放置された空き家は、雨水が侵入し、シロアリが食い荒らし、台風や地震の際に倒壊する危険も歳月とともに高まります。全國的に見れば、10年後には全体の3分の1が空き家になると、放棄して問題を先送りする場合ではなくなっているのは明らかです。

この空き家問題、どんどん深刻化している理由は、必要なくなった家を解体処分するにも、売却するにも、一筋縄ではいけない複雑な問題が絡み合っていることが多い、しかもその問題は案件によってバラバラです。近隣の人が長年空き家になっているのを気にかけて、自分の街を守るために、どこかに相談して解決しようと思つても、自治体でも、弁護士でも、不動産業でも、建築会社でも、司法書士でも、それぞれ単体では問題解決することができず、様々な専門家間で協力して横断的に問題解決を図らなければ一向に前に進まないのです。それならばいつそ、すべての専門家が揃っているワンストップサービスの窓口を作つて、情報を共有しながら適材適所の人員が活躍し、一体となつて問題と向き合えるような仕組みを作つたらどうか。というのが今回のプロジェクトと集まつた各界の専門家の「小さくて大きな力」を発揮できる日を心待ちにしています。